

校訓	友 勤 自 愛 勉 治	 令和6年度 東中だより 第15号	発行日	令和6年12月25日
教育目標	新しい多様化の時代を生きる 心身ともにたくましい生徒の育成		発行者	伊丹市立東中学校 校長 前田 徳三

【2学期終業式校長講話】

今日で長い2学期が終わります。2学期は体育大会でのみなさんの満面の笑顔や精一杯の応援、合唱コンクールで最優秀賞を取ろうと頑張る真剣な顔などを見ることができ、とてもうれしく思います。

さて、みなさんにとって令和6年はどんな年でしたか。今年は元日に能登半島地震が発生しました。今なお、仮設住宅に住まれているなど、大変な想いをされている方がいますが、改めて人と人との絆の大切さを痛感しました。また、翌日の2日に羽田空港で発生した飛行機事故において、日本航空（JAL）機から18分間で乗客379人全員が無事に脱出できたことに、世界中が驚くと同時に感動しました。これは、何ととっても、JALの乗員の冷静で、的確な対応があったからこそ可能になったものであり、私自身、校長として、とても考えさせられた出来事でした。

また、パリオリンピック、パラリンピックや、メジャーリーグの大谷選手など、多くの日本人選手が活躍し、勇気や感動を得た人も多かったと思います。

さて、今日は、みなさんに「成長する人の共通点」についてのお話をしたいと思います。大きな目標を達成した人や、夢を実現した人には決定的な共通点があります。何だと思いませんか。それは、成長し続けているということです。では、どうして成長することができるのか。ある研究者の調査結果では、大きなことを成し遂げた人の共通点として『読書の習慣』をあげています。これは、学ぶということが習慣化しているということです。

100年以上前のドイツの首相で鉄血宰相といわれたビスマルクはこのような名言を残しています。「愚者は自分の経験からのみ学び、賢者は他者の経験からも学ぶ」という言葉です。自分の体験したこと、慣れていることだけを物差しにしていると、時代の変化についていけず判断を誤ってしまいます。また、人生で自分が経験できることは極めて限られています。だから、多くの人々が積んでこられた経験や残された書物なども含めて学んでいくと、視野が広がり、見識を深めることができます。

例えば、30 年間もの間、研究し続けた研究者が書いた本を3時間で読んだとしたら、その研修者の 30 年間分の研究成果のエッセンスを3時間で知ることができます。また、一流のアスリートの自叙伝や先人たちの本を読めば、そのアスリートや先人たちが会得した考えや技、経験・体得したことなどを自分の成長につなげたり、悩んでいることを解消するためのヒントにしたりすることができるのではないのでしょうか。また、学ぶことが習慣化されれば、見識の深さは5年後、10 年後、まるで別人のように違ってきます。学ぶ人と学ばない人に大きな差がでるのは当然といえば、当然のことです。



長期休業は生きる上で大切なことを学べる貴重な時間です。この冬休みもたくさんの人の生き方や価値観に触れ、視野を広げたり、目標を見つけたりするきっかけにしてほしいと思います。

最後に、3年生は進路の方向が決定しました。受験校の対策や進路に向けた準備をしっかり行ってもらいたいと思います。がんばってください。応援しています。1月7日に元気な皆さんの笑顔を見られることを楽しみにしています。もし、困ったこと、心配なことなどがあれば学校に連絡をしてください。できるだけ、校長室の扉を開けて待っています。これで、私の話を終わります。

【表彰関係】（部活動及び各機関において表彰されたものの不足分は次号で紹介します）

伊丹市中学校給食献立コンクール	優秀賞	
全国中学生人権作文コンテスト	奨励賞	
いたみっ子アート展	色彩イメージ	6名
	絵文字	6名
	CDジャケットデザイン	7名
ビブリオバトル中学生大会 2024	グランプリ	
明るい選挙啓発ポスターコンクール	佳作	3名
伊丹市学校保健功労者表彰		本校職員
人権啓発標語		本校職員
兵庫県統計グラフコンクールにおいて学校奨励賞を受賞		

東中学校の取組や子どもたちの様子をホームページに載せています。是非、ご覧ください。

https://www.itami.ed.jp/school/Jrhigh/jr_higasi/index.html

※右の QR コードをお読みいただき、東中学校のホームページをご覧ください。

学校の様子をクリックしていただくと、最新の情報をご覧ください。

